



## 平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年9月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田満  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 浅川正則 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月29日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第1四半期の業績（平成27年5月16日～平成27年8月15日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	4,911	6.1	328	30.5	351	30.3	214	36.2
27年5月期第1四半期	4,628	0.8	251	△26.9	269	△24.3	157	△19.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	73.77	—
27年5月期第1四半期	54.16	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第1四半期	9,918	6,049	61.0	2,083.80
27年5月期	9,342	5,914	63.3	2,037.04

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 6,049百万円 27年5月期 5,914百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期（予想）	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年5月期の業績予想（平成27年5月16日～平成28年5月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,715	7.0	422	△4.5	448	△3.5	263	△2.6	90.93
通期	20,450	7.1	1,115	0.2	1,157	0.8	672	4.9	231.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年5月期1Q	2,903,600株	27年5月期	2,903,600株
28年5月期1Q	356株	27年5月期	326株
28年5月期1Q	2,903,259株	27年5月期1Q	2,903,274株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、中国経済の減速やギリシャの債務問題があるものの、企業収益の改善が進み、設備投資・雇用環境の着実な改善が進み、緩やかな回復基調で推移しました。

外食業界におきましては、コンビニエンスストア等他業種との顧客獲得競争、円安に伴う原材料コストの上昇、労働需要の逼迫に伴う人件費の上昇及び人材確保が課題になるなど、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第1四半期累計期間において、杉並宮前店(平成27年6月)、武蔵小杉店(平成27年7月)及び松戸岩瀬店(平成27年8月)を新規に出店した結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は90店舗となっております。

販売促進につきましては、銚子丸らしい高品質かつ時節の旬の食材によるイベントの継続的開催を実施し、特に当社の主力商品である鮪におきましては魚体250kg以上の「プレミアム本鮪」や「天然インド鮪」を使用したセットメニューを充実させるなどお客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は49億11百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は3億28百万円(同30.5%増)、経常利益3億51百万円(同30.3%増)、四半期純利益は2億14百万円(同36.2%増)となり、増収増益となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ5億76百万円増加し、99億18百万円(前事業年度末比6.2%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ4億40百万円増加し、67億39百万円(同7.0%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加1億49百万円、棚卸資産の増加67百万円及び預け金の増加1億70百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億36百万円増加し、31億79百万円(同4.5%増)となりました。これは、店舗増加及び既存店の改装による店舗設備の増加によるものです。

#### (負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ4億40百万円増加し、38億69百万円(前事業年度末比12.9%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ4億41百万円増加し、32億63百万円(同15.7%増)となりました。主な内訳は、買掛金の増加2億43百万円、短期借入金の増加3億30百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1百万円減少し、6億5百万円(同0.2%減)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1億35百万円増加し、60億49百万円(同2.3%増)となりました。主な内訳は、当第1四半期累計期間の四半期純利益2億14百万円及び第38期期末配当金の支払78百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高204億50百万円、営業利益11億15百万円、経常利益11億57百万円、当期純利益6億72百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き関東エリア(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)を重点にドミナント出店を軸として店舗数拡大を推進してまいります。第39期(平成27年5月16日から平成28年5月15日まで)の新規出店数は、8店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成27年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,708,870	5,857,962
売掛金	54,469	96,568
原材料及び貯蔵品	224,314	291,385
その他	310,848	493,182
流動資産合計	6,298,502	6,739,098
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,072,775	1,149,013
その他(純額)	408,867	463,050
有形固定資産合計	1,481,643	1,612,063
無形固定資産	145,501	137,441
投資その他の資産		
その他	1,417,576	1,431,289
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,416,497	1,430,211
固定資産合計	3,043,642	3,179,716
資産合計	9,342,144	9,918,815
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,004,283	1,247,700
短期借入金	150,000	480,000
未払金	1,095,628	1,108,405
未払法人税等	267,362	146,189
賞与引当金	109,300	56,150
株主優待引当金	32,725	25,332
その他	161,797	199,310
流動負債合計	2,821,098	3,263,088
固定負債		
資産除去債務	192,558	198,713
その他	414,413	407,240
固定負債合計	606,972	605,954
負債合計	3,428,070	3,869,043

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成27年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	5,361,991	5,497,772
自己株式	△787	△913
株主資本合計	5,913,983	6,049,638
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90	133
評価・換算差額等合計	90	133
純資産合計	5,914,074	6,049,772
負債純資産合計	9,342,144	9,918,815

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成26年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成27年8月15日)
売上高	4,628,155	4,911,028
売上原価	1,934,795	2,043,766
売上総利益	2,693,360	2,867,261
販売費及び一般管理費	2,441,718	2,538,801
営業利益	251,641	328,460
営業外収益		
受取利息	1,141	1,102
協賛金収入	14,803	17,574
その他	3,153	5,044
営業外収益合計	19,098	23,721
営業外費用		
支払利息	999	736
現金過不足	189	398
その他	45	—
営業外費用合計	1,234	1,134
経常利益	269,505	351,048
特別損失		
固定資産除却損	—	68
特別損失合計	—	68
税引前四半期純利益	269,505	350,979
法人税等	112,258	136,810
四半期純利益	157,246	214,169



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。